





なんだか古い町並み……
さっきまで神社にいたのに……



ここは岡部の宿。
今は1586年、豊臣秀吉が
天下統一を進めている
戦国時代の終わりだ。



秀吉は関白になり、その家臣
となった徳川家康は、秀吉から
遠ざかるために浜松から駿府に
居城を移すことを決めた。



井伊直政

このとき家康の家臣であった
井伊直政も駿府へ向かった。
その途中で直政は岡部の宿に
宿泊したんだ。

直政は岡部の宿で自分の世話をしてくれた阿古という女性を気に入り、側室として迎えたんだ。そして、阿古を正室の侍女として仕えさせた。



その後、直政と正室の間に男子が産まれた。この子が嫡男、直勝である。



ところがしばらくして、阿古も直政の子を身ごもったことがわかった。

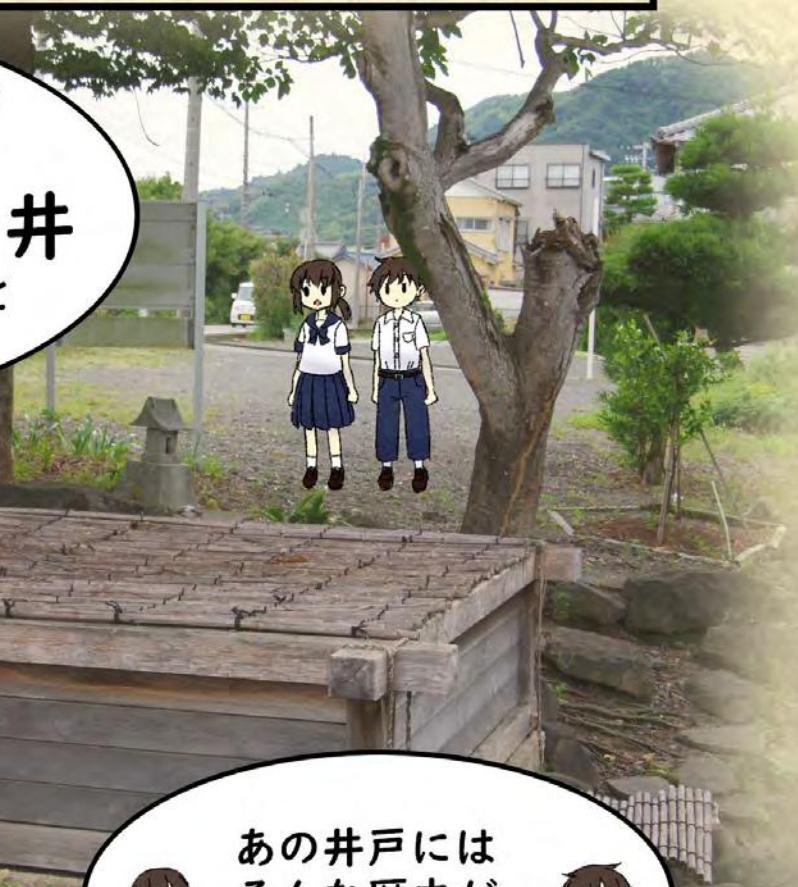


正室は阿古に嫉妬してしまうんじゃないかな…





直孝の出産の際に産湯を
汲んだとされる井戸は、
井伊直孝産湯の井
として焼津市指定史跡と
なっているぞ。



その頃直政は秀吉の命令で関東の北条氏を征伐しに向かった。
その後、直政は箕輪に移った。

阿古と4歳になった直孝は、父である直政に会いに箕輪へ向かったんだ。



阿古は直政に、直孝を引き取るようにと必死に頼み込んだが、城にはすでに嫡男の直勝がいた。



すでにこの頃近江に移っていた直政もこの大手柄を聞いて感激し、ついに直孝を引き取ることにしたんだ。

直孝もすごく嬉しそうだね!



こうして近江の城に引き取られた直孝が、父・直政の前で驚くことをやってのけた。直政は先の関ヶ原の戦いで腕を負傷していたのだが……



刀の試し切りができるないので直孝に頼んだら、直孝はためらわずに刀を構え、死刑囚の首を切り落として周囲を驚かせた。



その後、父・直政は
怪我をこじらせて
亡くなってしまう。



そしてついに、
豊臣と徳川の戦いである
大坂の陣が始まった。



初めは、直政の後継者と
決まっていた直勝が大将
になったが、直勝は
病弱だった。

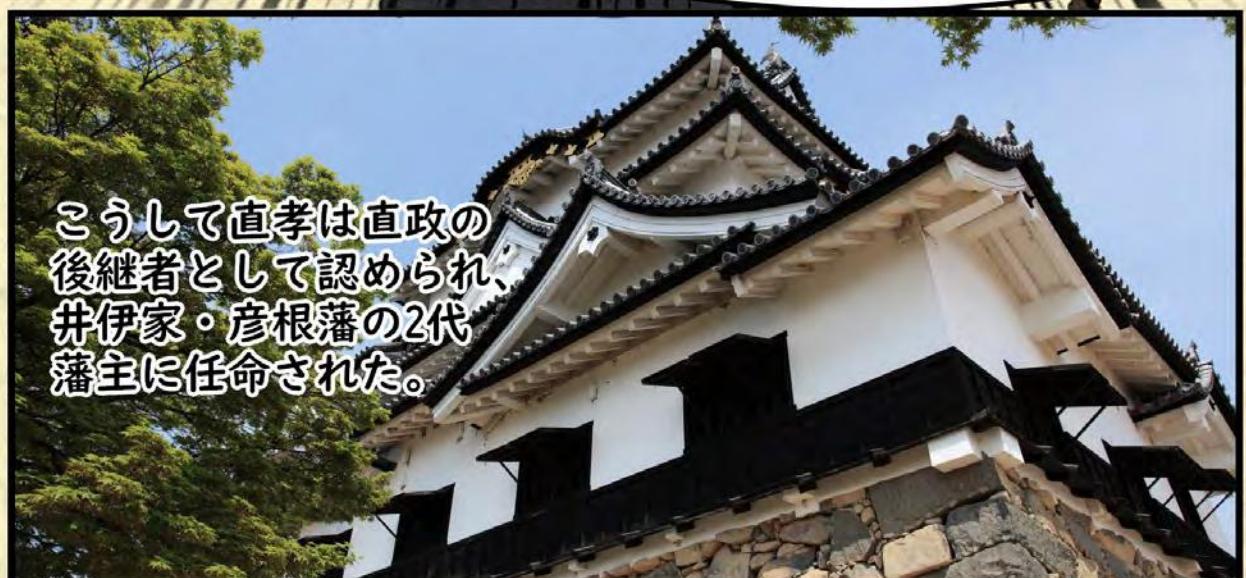
そこで、家康は
きゆうきよ急遽、直孝を大将に
任命したのだ。



直孝、大活躍
しているみたい!!



直孝は見事に豊臣を
滅ぼし、「井伊の赤牛」
と恐れられるようになった!



その後、直孝は
2代将軍・徳川秀忠の
後見役を命じられ、
江戸で出世の道を
歩むことになった。



でも、家も食事も
服装も、なんだか庶民
みたいだね。

直孝の信条は
質素儉約。
人に呼びかけるだけで
なく自分も実践して
いたんだ。



順調に出世してきた直孝だが、あるとき大病を患ってしまう。医者にみせても治らず、困ってしまったんだ。



直孝の病気、治るのかな……



しかし、ここで直孝の家臣の一人がこんな夢を見たのだ。



直孝の生まれ故郷・中里村の神社が荒廃している……
きれいに整備すれば、病気も治るであろう。





これを聞いた直孝は
すぐに神社を整備すると決め、
1629年に京都の石清水八幡宮
から祭神を移し、新たな神社を
建てることにした。

すると、直孝の病気は
たちまち快方に向かった。
こうして建立されたのが、
現在の若宮八幡宮である。

このとき書かれた棟札と、
その後入口に架けられた
橋は、現在の焼津市の
指定文化財となっているぞ。

